

まるりん通信



第174号 平成26年12月発行
公益財団法人 屋久島環境文化財団

Tel: 42-2911 FAX: 49-1018

屋久島環境文化村センタークリスマスイベント むらせん上映会のお知らせ

入場無料

「怪盗グルーのミニオン危機一発」

平成26年12月21日(日)

第1回 17:00~18:40

第2回 19:00~20:40

屋久島環境文化村センター映像ホールにて

映画をご覧になりたい方は、事前予約が必要です。下記をご確認のうえ、ご予約ください。

◆◆申し込み方法◆◆

申込方法：電話予約のみ⇒0997-42-2900

申込期間：12月12日(金) 9:00から

12月14日(日) 17:00まで

(定員に達し次第、終了いたします)

定員：各回とも先着230名様

★☆まるりん撮影会☆☆

第1回(16:00~)・第2回(18:00~)

上映会当日は、『クリスマスまるりん』がみんなに会いに来ます。

「まるりん」と一緒に写真を撮りたい方は、この時間にお集まりください。



※ご予約1件につき最大5名様までといたします。
※予約時には入場者全員の氏名が必要です。

「日本赤十字救急法救急員講習会」

赤十字救急法救急員講習を開催し、リスクマネージメントの学習を行います。

期 日：平成27年1月7日(水)~9日(金)

場 所：屋久島環境文化村センター(宮之浦)

内 容：傷や骨折の手当、搬送等の救急法など

参加費：6,000円(保険料・教材費等込み)

申込締切：平成26年12月20日(土)

電話予約の際に、入場券受取り場所[村センター(宮之浦)または研修センター(安房)]をご指定していただきますので、下記期間内にご指定施設にて入場券をお受取りください。

受取期間：12/14(日)~19(金)

各日 9:00~17:00

※上映会当日に入場券をご持参いただけない場合、ご入場できませんのでご注意ください。

「屋久島ガイドセミナー」

エコツーリズムの理念やインタープリテーションの手法など、ガイドとしての基本的な知識や技術に関する講習です。

期 日：平成27年1月24日(土)・25日(日)

場 所：宮之浦保健センター

参加費：9,000円

(全日程を受講し、修了証が必要な場合)

※1単位ずつ受講できるようになりましたので、各受講料はお問い合わせ下さい。

申込締切：平成27年1月16日(金)

自然文化体験セミナー 参加者大募集!!

屋久島子ども森の遊び場

～焚き火でほっこりごはんの会～

焚き火でまきまき棒パンを作って、親子でほっこりしませんか?

開催日時：1月18日(日) 9:00~14:00

対 象：未就学児親子

※お子様は1人で歩ける程度から

※幼稚園教諭・保育士の方も参加可能

参加費：親子1組500円(昼食代・保険料込み)

※兄弟姉妹1人追加につき150円

定 員：15組 30名程度

申込締切：1月13日(火) 先着順

★申込・お問い合わせ★

研修センター Tel: 46-2900 担当：福元

★申込・お問い合わせ★

研修センター Tel: 46-2900 担当：早崎

～インストラクター便り～
「カメムシのにおい」

研修課インストラクター 今村桜子

夏の間、私の家の網戸にはいろいろな虫がくっついていましたが、最近は季節も次第に冬らしくなり、網戸にくっつく虫もめっきり少なくなりました。そのなかでも多かったなあとと思うのがカメムシです。カメムシといたら「くさい」というイメージをもっている人が多いのではないのでしょうか。確かにカメムシは言葉では表しにくい独特の臭いがします。網戸にくっついていると、その臭いで気づくほどでした。しかし、なかには良いにおいがするカメムシもいるんですよ。

忘れもしない小学2年生の時の思い出です。校庭でうんていをしようと梯子に手を伸ばした瞬間「ぐしゃっ」という感覚があり、ポトっと下になにか落ちていきました。見てみるとそれは大きなカメムシ。怖いものみださに手のにおいをかいでみると…びっくり！なんと青りんごガムのにおいがしたのです。

うそだ！記憶違いじゃないか？と思われる方もいるかもしれませんが。大学の時にふと調べてみたら「青りんごカメムシ」は実在するようです。その正体はオオクモヘリカメムシ。このカメムシはネムノキによくいるらしいですが、確かにうんていの側には大きなネムノキが生えていました。

勇気を出してにおいをかいでみると「カメムシなのに！」という驚きの発見があるかもしれません。「青りんごカメムシ」気になったらぜひ探してみてください。



◆◆◆財団の活動報告◆◆◆

『冒険しよう』

～カメラを持って出かけよう～

11月22・23日に島内の子ども向けイベント「冒険しよう」を実施いたしました。

初日はヤクスギランドで冒険にふさわしい風景探し、そして夜は焼いた石を使った古代の蒸し焼き料理を体験しました。

2日目は竹で料理体験をしました。竹で作った飯ごうで炊き込みご飯を作り、自分で作った竹の箸と器で食事しました。

2日間通して子どもたちには写真を撮ってもらい、その日の終わりに文章を考え、屋久島環境文化財団のFacebookに載せました。

詳細な情報は是非こちらでご覧下さい。

「屋久島環境文化財団 Facebook」で検索していただくか、下記 QR コードから閲覧する事ができます。



連載【屋久島を想う】96

「糧（かて）」
～人の精神の活力の源、
心をちからづけるもの～
事務局次長 鯨坂 修平



屋久島を愛する人、屋久島に来られる方などは、縄文杉・宮之浦岳をはじめとする山々、海、川といったすばらしい自然環境、里そして人々、これら「屋久島」を自分の「心の糧」と思っておられる方も多いと思う。

かく言う、私にとっての「心の糧」とは何だろう。これまで家族、趣味、将来の夢・希望、自分の好きなもの・・・、いつもそれらを思い巡らせながら自分に鞭をいれ、イヤなことやつらいこと、日々の怠惰な生活を乗り切ろうとしていたような気がする。

今年の4月に赴任して10か月余り。毎日の仕事に追われ、正直元々、自然・環境に興味があったわけでもなく、どちらかと言えば人工的なものが好きな身としては、「屋久島」はまだまだ「心の糧」というより生活の拠点でしかないのが、悲しいかな今の心の内である。

ただ、将来島を離れた後、いつの日か必ず島や島での生活が私の「心の糧」となり、「屋久島」を想い生きていることであろう。また、そうなる自分でありたいと願っている。

☆☆☆ご報告☆☆☆

今年8月に広島市で発生した大規模土砂災害に際し、屋久島環境文化村センターにおいて、義援金募金活動を行いました。11月13日現在で7,469円の募金が集まり、鹿児島県赤十字社鹿児島支部を通じて、広島市災害義援金事務局に送金いたしましたのでご報告いたします。

ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。



村センター: 12/16(火)・12/28(日)～1/1(木)・1/20(火)
研修センター: 12/15(月)・12/28(日)～1/3(土)・1/5(月)・
1/12(月)・1/19(月)・1/26(月)